※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「改訂版　現代の国語」（数研出版）						
副教材等	未来をひらく常用漢字(桐原書店) 新訂版正しく読み解くための力をつける現代文　ステップ１（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会に出るうえで必要となる基礎的な国語力を身に付けていきましょう。
・ICT 機器を効果的に用いて学習し、グループディスカッション、発表、文章記述といったさまざまな活動を取り入れた授業を行います。
・さまざまな文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・定期考査は、学習計画を立てて臨んでください。課題や提出物などの期限は必ず守りましょう。
・毎時間意欲的・積極的に授業に臨んでください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1)　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2)　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	［教材］ 田中真知「風が通るとき」 評論の読み方 着眼　私の中にある生命の歴史	a: 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c: 文章の論理展開を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って具体的に考えようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート 小テスト
	対比の構造 ［教材］ 山崎正和「水の東西」 【ズームアップ】文化 【チェックポイント1】指示語	a: 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c: 筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート 小テスト
	言語技術の実践1 文章トレーニング1（文章構造を理解する） 文章トレーニング4（論証する） 文章トレーニング5（意見文を書く） レポート	a:実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 b[話/聞]:目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、伝え合う内容を検討している。 c:テーマに関連する書籍を進んで読んだり、特定の言葉や概念について調べたりした上で、課題に沿って考えたことを話し合おうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート
2学期	背景を理解する ［教材］ 阪本俊生「ポスト・プライバシー」 【ズームアップ】情報とメディア	a:推論の仕方を理解し使っている。 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 b:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c:筆者の考えを参考にしながら実社会の状況や問題点を粘り強く考察し、学習課題に沿って説明しようとしている。 論理的な文章と複数の資料を積極的に読み比べることで実社会に関する考察を深め、学習課題に沿ってわかりやすく説明しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート 小テスト

※令和４年度以降入学生用

	一般論と主張 ［教材］ 松村圭一郎「異文化を理解するとは」 【チェックポイント2】文脈の理解 【チェックポイント3】接続語	a: 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 b:「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c:論理的文章と関連する資料を積極的に比較考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。 本文の内容に関連する事例を粘り強く考察し、学習課題に沿ってまとめようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート 小テスト
3学期	問題提起 ［教材］ 鷲田清一「他者を理解するということ」 【ズームアップ】自己と他者の理解とは	a: 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 b:「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 c: テーマに関連する書籍を進んで読んだり、特定の言葉や概念について調べたりした上で、課題に沿って考えたことをまとめようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート 小テスト

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３５　）時間

・読むこと　…　（　２５　）時間